

**製品名: p57 Kip2 (12I5) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe15653**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,IP 1:10-1:100,IF-P 1:100-1:200
分子量	32kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CDKN1C
別名	BWCR; BWS; KIP2; WBS; p57; p57 Kip2; WBS ; CDKN1C; Cyclin dependent kinase inhibitor 1C
遺伝子 ID	1028.0
SwissProt ID	P49918
免疫原	ヒト p57 Kip2 の合成ペプチド

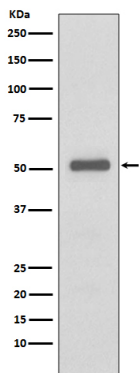
**背景**

p27 Kip1 は、サイクリン依存性キナーゼ阻害因子である Cip/Kip ファミリーの一員です。同族の p57 Kip2 や p21 Waf1/Cip1 と同様に、G1 期制限点を強化する能力は、CDK2/サイクリン E およびその他の CDK/サイクリン複合体への阻害結合に由来します。p27 の発現レベルは、静止細胞および cAMP またはその他の負の細胞周期制御因子で処理した細胞で上昇します。いくつかの G1 サイクリン/CDK 複合体 (サイクリン E-CDK2、サイクリン D2-CDK4、サイクリン A-CDK2) に対する強力な強結合阻害剤であり、有糸分裂期サイクリン B-CDC2 に対する阻害剤としては、より弱い阻害作用を示します。細胞増殖の負の調節因子であり、生涯を通じて非増殖状態の維持に関与している可能性があります。

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



p57 Kip2 抗体を使用した HeLa 細胞のウェスタンブロット分析。